実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
守谷市	守谷地区(本町, 同地, 赤法花, 松並, 小山, 百合ヶ丘)	平成25年10月25日	令和3年11月26日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	161.9ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	109.7ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	91.8ha
うち後継者未定又は不明の農業者の耕作面積の合計	83.9ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	19.8ha
(備考) 上記の面積については、令和元年9月～令和2年1月のアンケート結果を集計したものです。	

2 対象地区の課題

耕作者の高齢化が進み、農地を継承する中心経営体や後継者がいないために耕作放棄地が増加している。新規就農者や入作者を含め、新たな中心経営体を育てていくことが必要。
水田は軟弱地盤であるため、畦畔除去を行い区画の大規模化を図ることができない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体に集積・集約するほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進していくことにより対応していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
計	認農:4人 認就:2人		24.5 ha		44.3 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。

入作を希望する農家には、地域の農地利用最適化推進委員が中心になり斡旋する。